



2025年度

『いちだい地域共創プロジェクト』 応募の手引

「いちだい地域共創プロジェクト」は、地域の課題解決に取り組んでいる広島広域都市圏及びその周辺地域の団体からの提案を受けて、本学の教員や学生が、応募団体と協働して、課題解決に向けた取組を実践するものです。

教員や学生の研究の専門性に期待する「いちだい地域共創部門」では上限50万円まで大学が負担します。学生の活躍に期待する「市大生チャレンジ部門」では、上限15万円の補助金を交付します。

◆ 募集期間

2024年10月15日（火）～11月15日（金）17時必着

◆ 事業の流れ

1

活動課題提案を応募

募集期間中に、広島広域都市圏及びその周辺地域の地域団体から 2025 年度に実施する活動課題を応募



※事業のしくみや提案テーマの設定等、事前にご相談ください。

2

マッチング掲示板に活動課題を掲載

募集期間終了後から1か月程度、提案された活動課題を本学学内限定ホームページに掲載し、教職員、学生が閲覧。関心がある提案について事務局に相談

3

関心を示した教員、学生と面談

関心があった活動課題について、団体と教員、学生が面談等により、情報交換。マッチングの可能性を探る



4

プロジェクトチームの組織・助成申請

2025年1月頃、マッチングが成立した団体と教員、学生がプロジェクトチームを組織し、協力して申請書を作成し提出。学内審査へ

※マッチングしなかった場合、希望により掲載を継続し、他の研究・事業等での連携の可能性を残します。

5

プロジェクト事業の実施

採択されたプロジェクト事業については、4月から活動を開始し、年度末の発表会で成果を発表



ご応募・お問い合わせ先 広島市立大学 地域共創センター

〒731-3194 広島市安佐南区大塚東 3-4-1

TEL: 082-830-1542 / FAX: 082-830-1555

E-mail: chi-ren@m.hiroshima-cu.ac.jp

広島市立大学 HP
 関連ページ QR コード



◆ 応募対象者

広島広域都市圏及びその周辺地域で地域課題に取り組む地域団体

- ・町内会等の地域コミュニティ団体、非営利の市民活動団体を対象とします。
- ・行政団体、行政の関係団体、企業その他営利団体は対象外とします。

※ 継続について

原則として、この事業での活動は1年度限りとします。

ただし、いちだい地域共創プロジェクトの2023年度の採択事業は2025年度まで、2024年度の採択事業は2026年度まで、継続可能です。（新規事業と同様、審査があります。）

◆ 募集する課題

次のすべてに該当するもの

① 地域の活性化や福祉の増進等に資する課題

地域とは、広島広域都市圏及びその周辺の圏域内において、圏域全体、市町又は学区などのエリアとします。

② 本学の研究の推進や学生の成長に資する課題

本学は、国際学部、情報科学部、芸術学部の3学部、大学院として国際学研究科、情報科学研究科、芸術学研究科、平和学研究科で構成されています。

提案が、本学の研究分野にあたるかどうか分からない場合、また、分野外であろうと思われる場合もご相談ください。

③ 「教員・学生の研究に期待する課題」又は「学生の活躍に期待する課題」

- ・【いちだい地域共創部門】教員・学生の研究に期待する課題

研究者は以下のURLからご確認いただけます。

<https://www.hiroshima-cu.ac.jp/research-presentation/researcher/>

- ・【市大生チャレンジ部門】学生の活躍に期待する課題



◆ 実施までの過程

- ① 提案をマッチング掲示板（本学学内限定ホームページ）に掲載し、教員、学生の閲覧を促します。※外部の方の閲覧不可。
- ② 関心がある提案について、事務局に相談し、団体と教員、学生が面談等により、情報交換をして、マッチングの可能性を探ります。
- ② マッチングが成立した場合、団体と教員、学生がプロジェクトチームを組織し、協力して事業計画書【様式3】を作成し提出します。
- ④ 学内審査を経て、採択されたプロジェクト事業は、2025年4月から活動できます。
- ⑤ 年度末には、活動報告会を予定しています。

◆ 事業計画書の作成

① いちだい地域共創部門（現：いちだい地域共創プロジェクト）

提案団体、教員・学生（代表は必ず教員）が、協働で事業の内容・スケジュール・役割分担・予算などの計画を作成します。

予算の上限は50万円で、以下の経費が対象となります。

項目	内容（留意点）
謝金	講師等に支払う謝金等 教員、学生、地域団体等プロジェクトチーム構成員への支払いは不可。
賃金	学生等に支払う賃金 ボランティア参加により難しい場合で、プロジェクトチーム構成員以外の学生等が支援的に参加するなどに限ります。
旅費	プロジェクト事業を実施するうえで必要となる移動交通費等
委託料	専門業者、専門家等に委託する経費 危険を伴う作業、プロジェクトチーム構成員では困難な業務などに限ります。
印刷費	ポスター、チラシ、検討資料、報告書の印刷費等
会議費	学外施設の会場使用料等
消耗品費	文房具、製作用資材等 ※申請経費のうち、換金性の備品（パソコン、タブレット型コンピュータ、デジタルカメラ、ビデオカメラ、テレビ、録画機器）の購入は、購入経緯や使用頻度を確認し、貸し出しでの対応や、購入を認めない場合があります。 購入を認めた備品は、事業終了後、本学へ返却するものとします。

※事業対象経費となるかご不明な場合は、お問い合わせください。

※予算は補助金交付ではなく、本学の規定に従い、代表教員が執行します。これにより難しい経費は、団体側でご負担ください。

① 市大生チャレンジ部門（現：市大生チャレンジ事業）

提案団体、学生（教員がアドバイザー）が、協働で事業の内容・スケジュール・役割分担・予算などの計画を作成します。

予算の上限は15万円で、以下の経費が対象となります。

項目	内容（留意点）
旅費	プロジェクト事業を実施するうえで必要となる移動交通費等
委託料	専門業者、専門家等に委託する経費 危険を伴う作業、プロジェクトチーム構成員では困難な業務以外の学生が支援的に参加するなど）に限ります。
印刷費	ポスター、チラシ、検討資料等
会議費	学外施設の会場使用料等
消耗品費	文房具、製作用資材等 ※申請経費のうち、換金性の備品（パソコン、タブレット型コンピュータ、デジタルカメラ、ビデオカメラ、テレビ、録画機器）の購入は、購入経緯や使用頻度を確認し、貸し出しでの対応や、購入を認めない場合があります。 購入を認めた備品は、事業終了後、本学へ返却するものとします。

※事業対象経費となるかご不明な場合は、お問い合わせください。

※予算は補助金交付ではなく、本学の規定に従い、代表教員が執行します。これにより難しい経費は、団体側でご負担ください。

※地域団体の提案に基づかない「学生発意」のプロジェクト事業も認めます（学内で別途案内）

留意事項

- ・ご提案いただいた活動テーマが、マッチングが成立しない場合や、事業計画書の審査の結果、採択されないこともあります。
- ・マッチングが成立しなかった場合も、希望により、マッチング掲示板への掲載を継続し、他の研究・事業等での連携の可能性を残します。
- ・採択された場合も、予算額が査定により減額される場合があります。
- ・プロジェクト事業終了後に報告書を提出していただきます。
- ・2026年2月頃に実施発表会を実施します。
- ・他のイベント等で成果発表の協力をお願いすることがあります。
- ・来年度事業であり、予算等が確定していないため、変更が生じる可能性があります。

申請書類

- ・活動課題提案書【様式1】を、本学ホームページからダウンロードしてください。
- ・事前相談のうえ、次ページの記入例を参考に、必要事項を記入し、広島市立大学地域共創センターへE-mailでご提出ください。

2025年度広島市立大学 いちだい地域共創プロジェクトテーマ活動課題提案書

提案年月日：2024年__月__日

1 提案者

団体名	〇〇学区自治会	代表者 役職・氏名	会長 〇〇 〇〇
担当者 所属	同上	担当者 役職・氏名	事務局 〇〇 〇〇
連絡先	〒731-0000 〇〇市〇〇町〇丁目 00-00	電話	
		FAX	
		E-mail	
提案団体の 概要(目的、 活動内容等)	〇〇市〇〇小学校地区の住民自治組織。単位町内会と各種団体で構成。地域の防犯・防災、清掃、子どもの見守りや行事開催などの地域内の事業を調整、実施している。		団体の会員数 500 人

2 テーマ名(端的で分かりやすい名称にしてください。)

地域の伝統芸能「〇〇舞」を復活させたい

3 これまでの経緯や現状

私たちの地域には、古くから伝わる「〇〇〇〇祭」という伝統行事があるが、近年、担い手の高齢化と後継者の不在などで、存続が危ぶまれている。
一つは、20 念以上前から途絶えている「〇〇舞」について、残された写真や古老の話などから、復元したいと思っている。
もう一つは、伝統を守りつつも、若者が参加できるような行事にしたいと考えている。

4 期待する成果と活用方法

大学の先生や学生さんと、「〇〇舞」に関する調査をして、面、衣装、舞の所作等についてレポートを作成し、近い将来にはそれを復活させたい。

5 期待する活動方法(複数回答可)

- 教員・学生の研究に期待する(いちだい地域共創部門)
 学生の活躍に期待する(市大生チャレンジ部門)
 どちらでもよい
 わからない(検討中)

6 その他、大学に期待する専門分野や技術、知見、知識等

(関連のありそうな学部や研究分野、求める学生のタイプなど。)

・地域民族学的なヒアリング
・写真や音源の鮮明化
・衣装等の復元に参考となるデザイン的な考察